

CABLINE[®]-CAP Paddle Card Harness

Part No. 81863-100B-**

Instruction Manual

Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by
1	S24118	April 2, 2024	W. Lau	Y. Shimizu	M. Takemoto
0	S23151	May 23, 2023	T. Onishi	M. Muro	H. Ikari

弊社製コネクタハーネス CABLINE-CAP (Paddle Card ハーネス) を安全に御使用頂くことを目的とし、コネクタの挿入・抜去の手順及び注意点を記述致します。

【対象コネクタハーネス名称・型番】

・ケーブル側

名称: CABLINE-CAP HARNESS 50P WITH PADDLE CARD

品番: 81863-100B-**

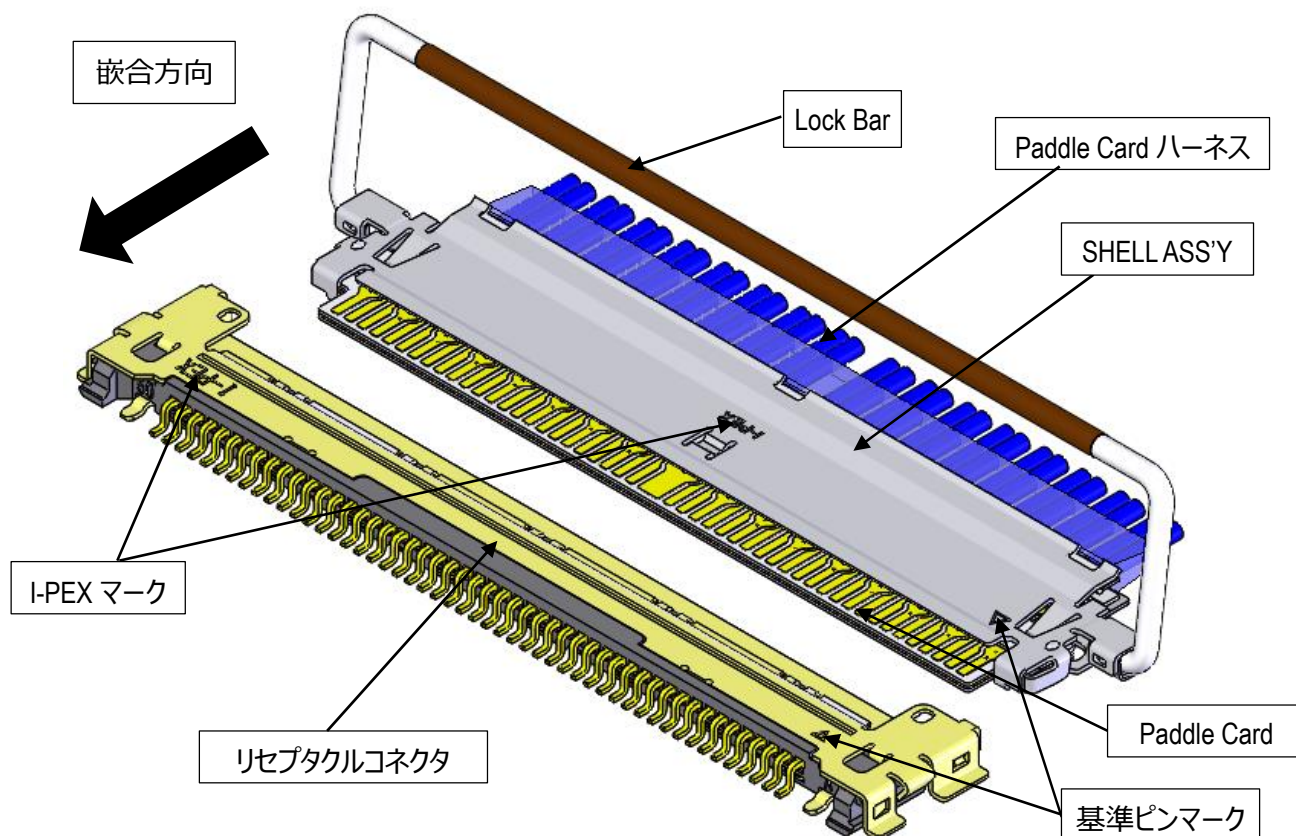
“**” には、ハーネスバリエーションになります。詳細は図面を参照願います。

・基板側

名称: CABLINE-CA Receptacle

品番: 20525-050E-02

【コネクタ各部名称】



【コネクタ挿入手順】

1. 図 1 の様に、Paddle Card ハーネスとリセパクルコネクタの基準ピンマークが同じ側に来る様にセットする。

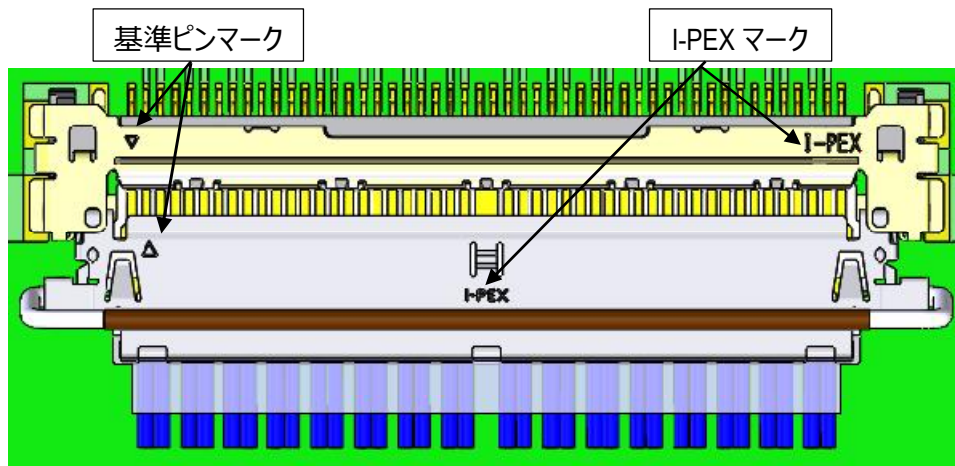


図. 1

2. 図 2 の様に、SHELL ASS'Y の両端を平行にロックが掛かるまで押す。

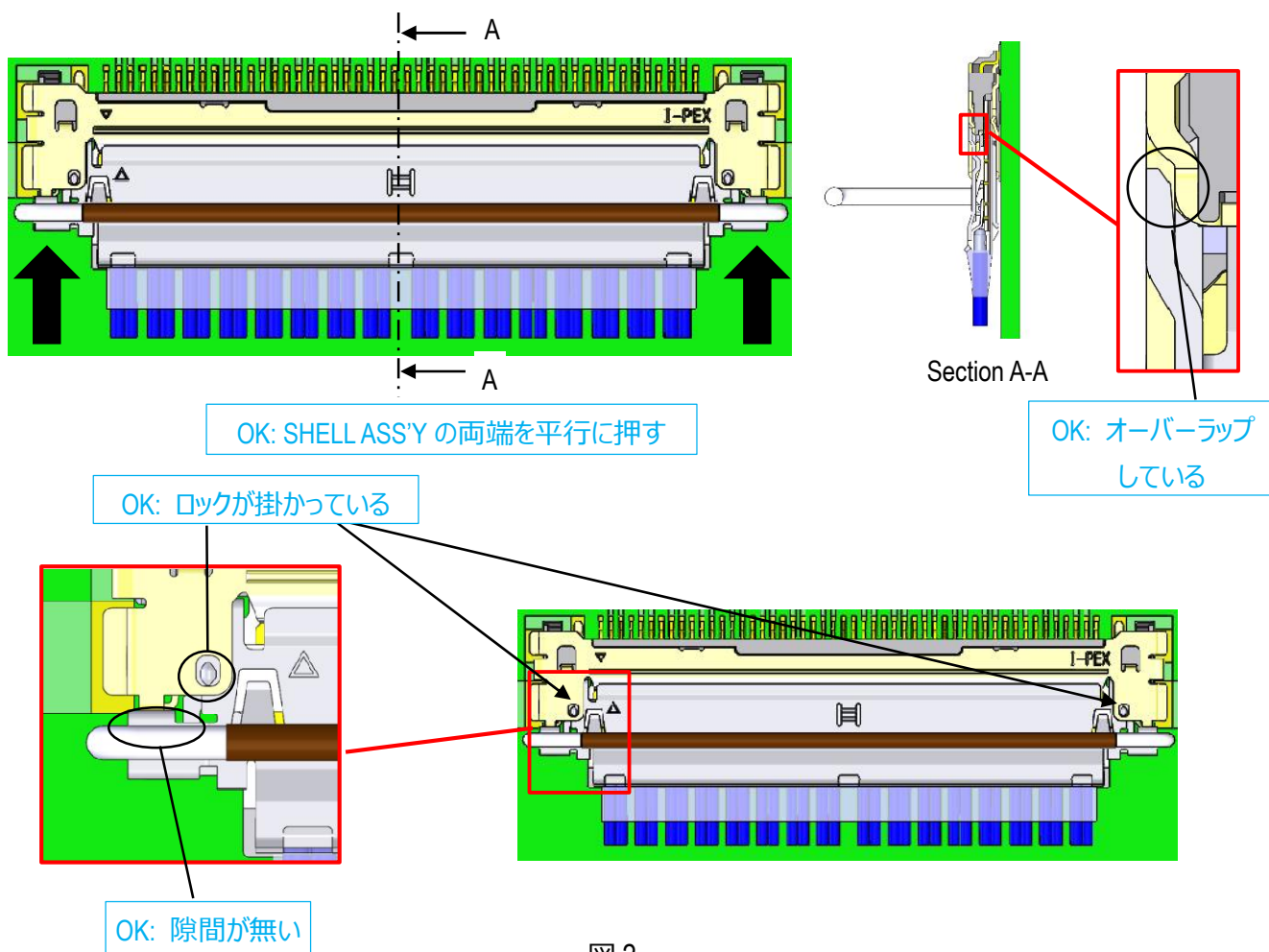


図. 2

<注意事項 1>

SHELLASS'Y は、両端を平行に同時に押し込んで挿入してください。

SHELLASS'Y を片側ずつ押す場合、図 3 の様に嵌合が不完全になる恐れがあります。

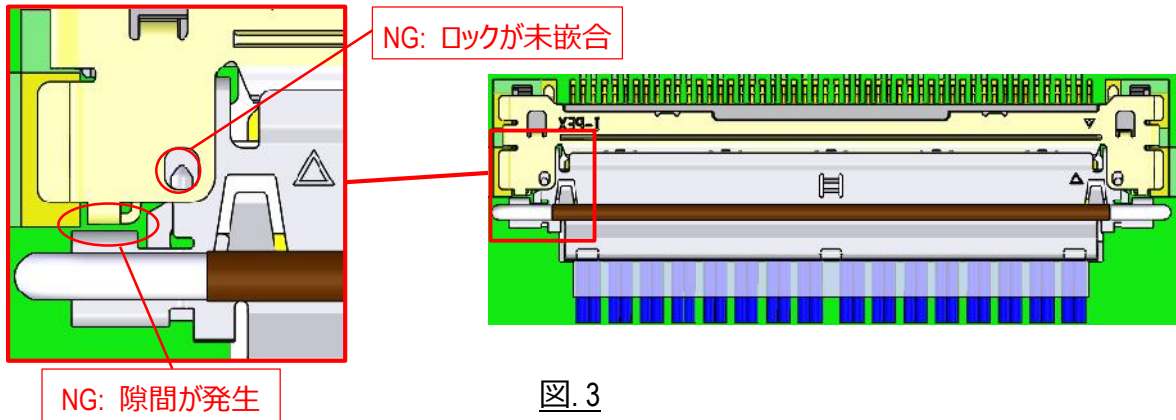


図. 3

<注意事項 2>

リセタクルコネクタの挿入ガイドに沿う様に挿入してください。

片側に寄せたり、ガイドに沿わない様に挿入する場合、コネクタが変形・破損する恐れがあります。

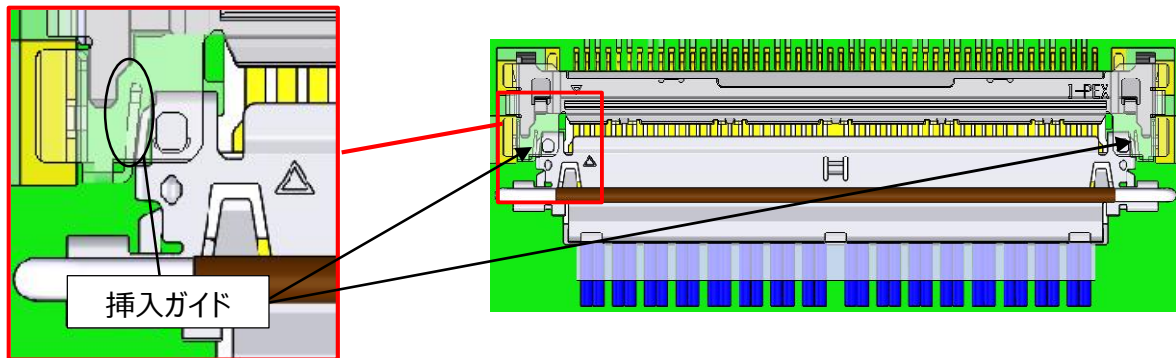


図. 4

<注意事項 3>

挿入時はコネクタ同士が平行になる様に挿入してください。

コネクタ同士が斜めの状態で嵌合する場合、コネクタが変形・破損する恐れがあります。

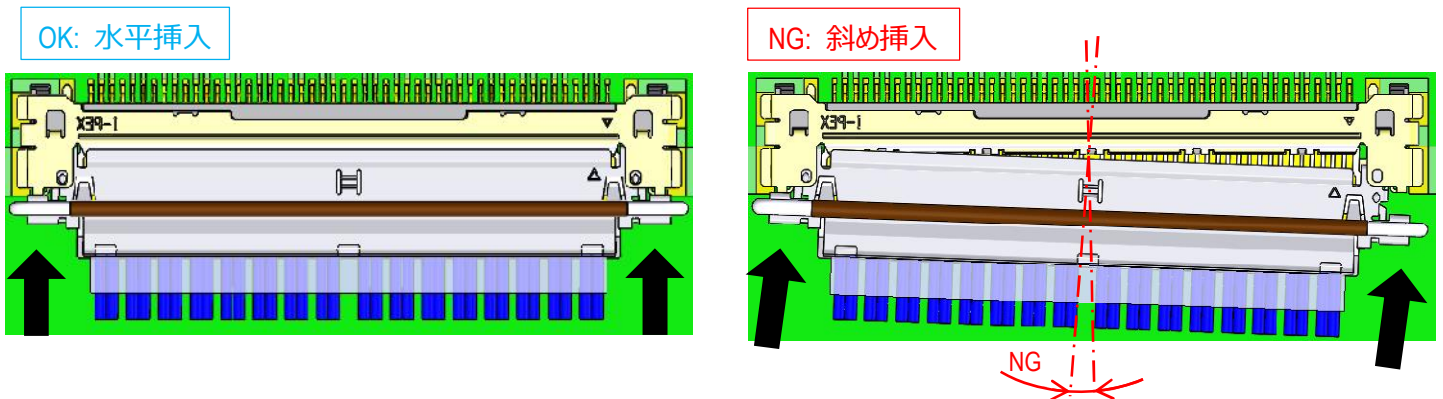


図. 5

<注意事項 4>

コネクタ挿入開始時の許容角度は、図 6 に示すように上方向に MAX. 5°になります。

許容角度を超える場合、コネクタが変形・破損する恐れがあります。

*コネクタ挿入開始位置: 挿入方向に対して、荷重が掛かり始める位置

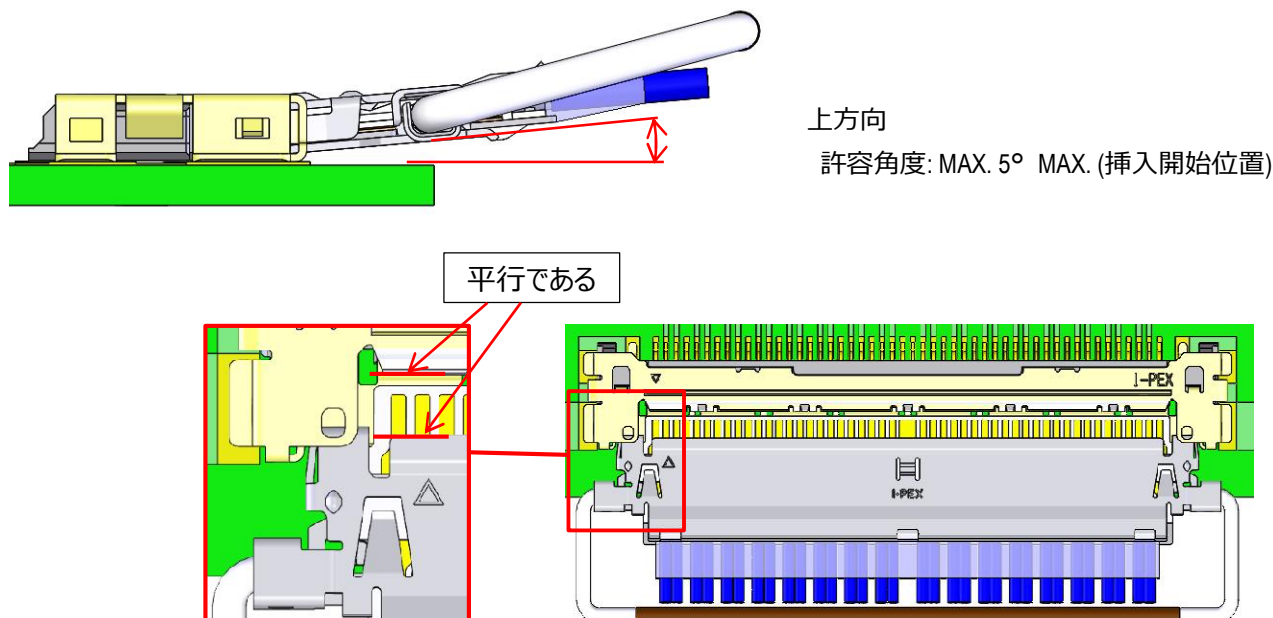


図.6

<注意事項 5>

図 2 の様に、SHELL ASS'Y の両端を平行に同時に押して挿入してください。

図 7 の様に、Lock Bar を直接押して挿入する場合、コネクタが変形・破損する恐れがあります。

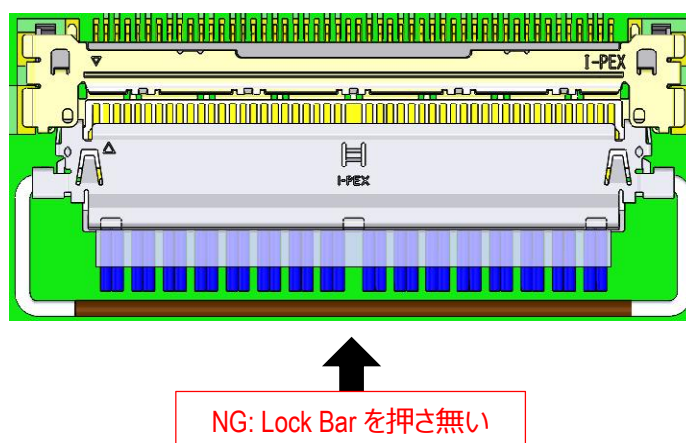


図.7

<注意事項 6>

Paddle Card ハーネスを PCB 側に負荷を掛けない様に、挿入してください。

PCB 側に負荷を掛けた場合、PCB 基板に傷が入り、パターンの断線及びショートが発生する恐れがあります。

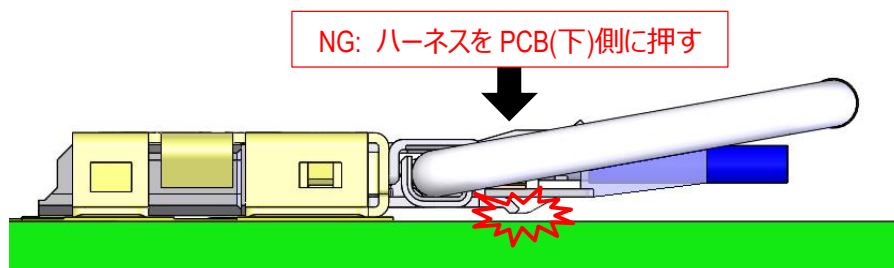


図.8

3. 図 9 の黒○部を PCB 側へ押し込み、Paddle Card ハーネスとリセプタクルコネクタをロックさせる。

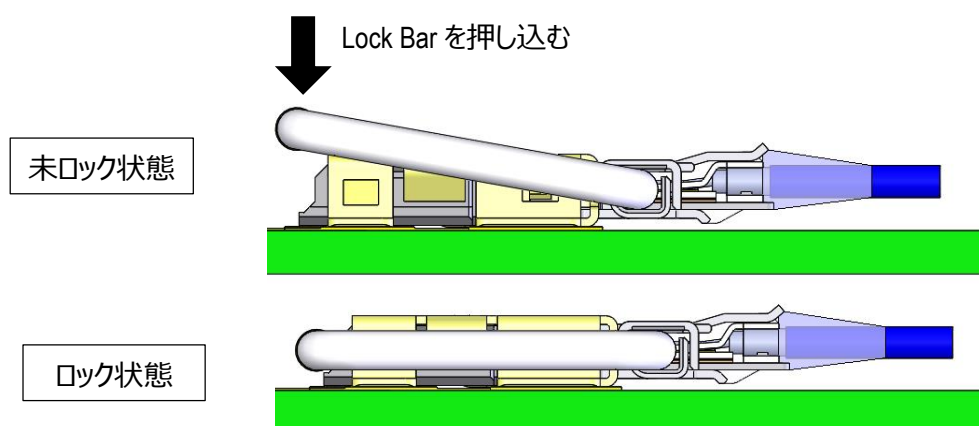
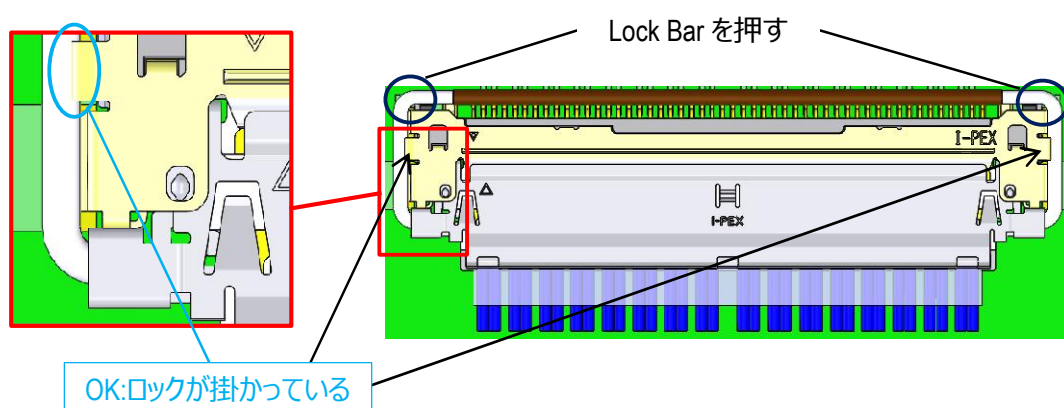
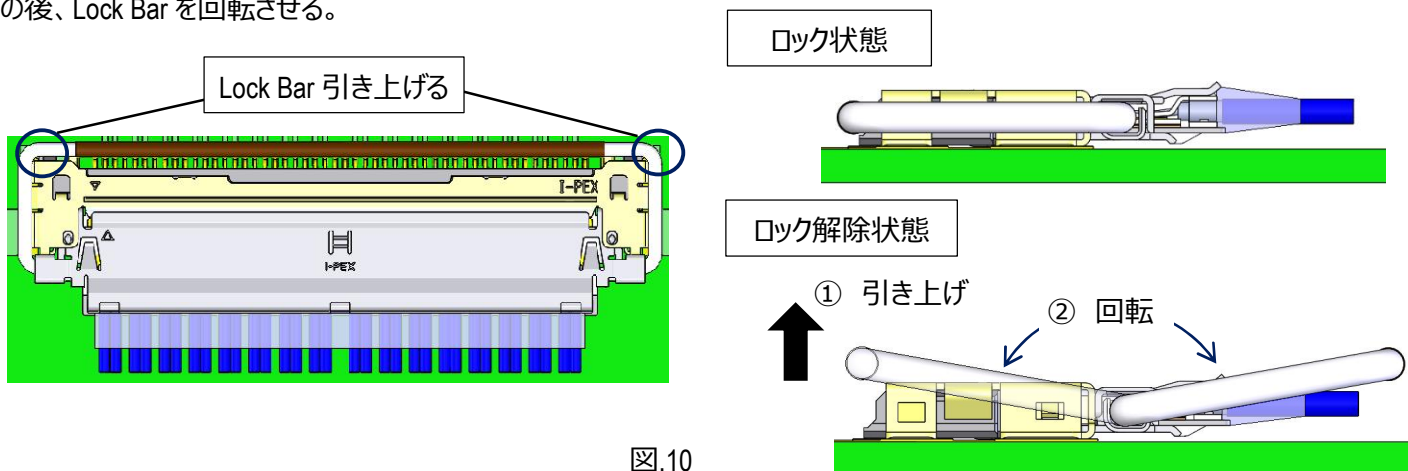


図.9

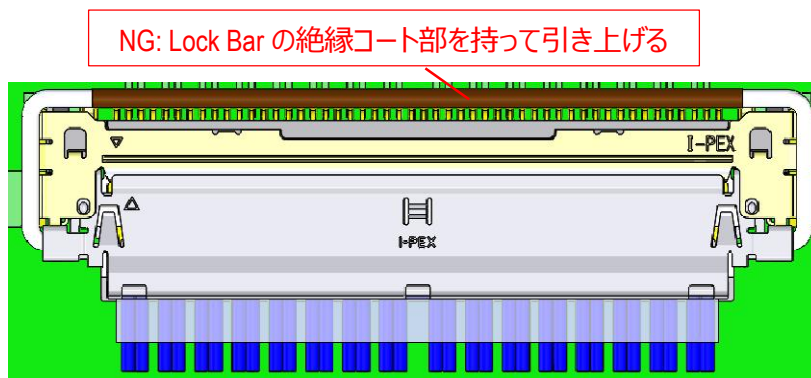
【コネクタ抜去手順】

1. 図 10 の黒○部のどちらか一方を上方向に Lock Bar を引き上げ、リセプタクルコネクタとのロックを解除する。
その後、Lock Bar を回転させる。

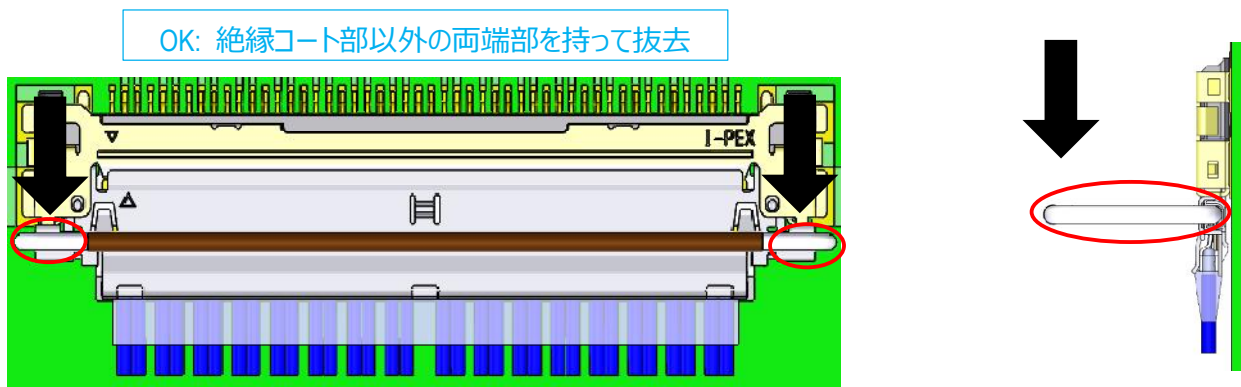


<注意事項 7>

- 図10の黒○部のどちらか一方を上方向にLock Barを引き上げ、ロックを解除してください。
図11のLock Barの絶縁コート部を持ってロックを解除する場合、絶縁コートが傷つき、リセプタクルコンタクトとLock Barがショートする恐れがあります。



2. 図 12 の様に、Lock Bar をコネクタに対して垂直にした状態で、絶縁コート部以外の両端 2 カ所を掴んで PCB 基板に対して、平行な状態で真っ直ぐに抜去する。



<注意事項 8>

PCB 基板に対して、平行な状態で真っ直ぐに抜去してください。

図 13 の様に、斜め方向に抜去する場合、コネクタが変形・破損する恐れがあります。

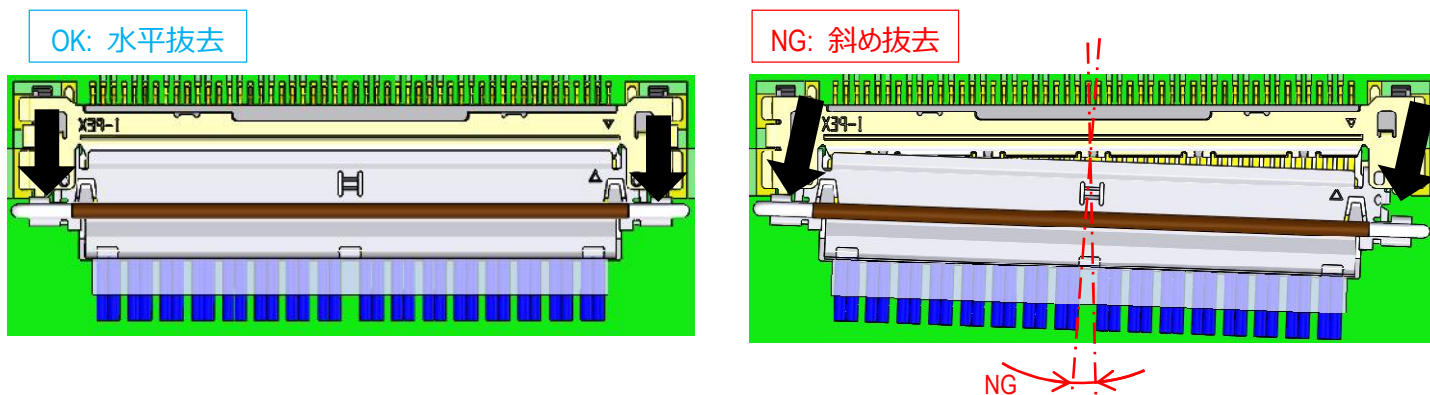


図.13

<注意事項 9>

絶縁コート部以外の両端 2 カ所を掴んで真っ直ぐに抜去してください。

図 14 の様に、Lock Bar の絶縁コート部を持って抜去する場合、コネクタが変形・破損する恐れがあります。

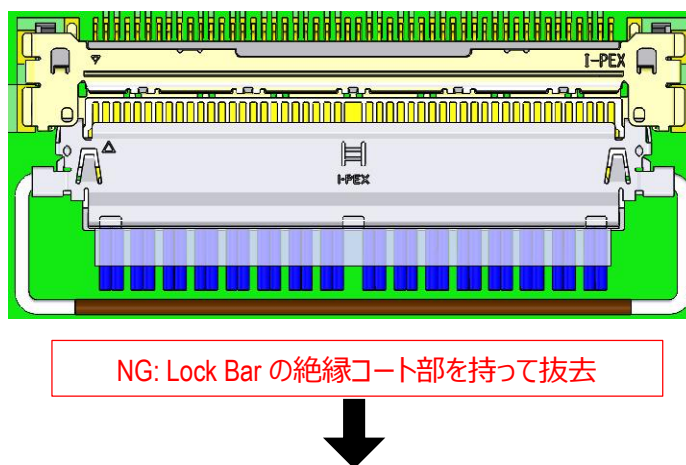


図. 14

<注意事項 10>

Paddle Card ハーネスを PCB 側に負荷を掛けない様に、抜去してください。

PCB 側に負荷を掛けた場合、PCB 基板に傷が入り、パターンの断線及びショートが発生する恐れがあります。

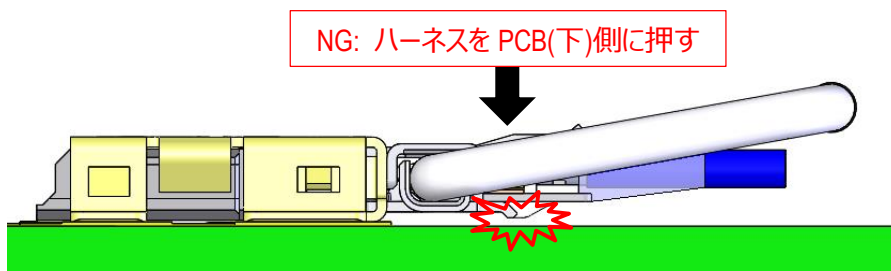


図. 15

【ハーネス取扱時の注意事項】

1. ケーブルを手にとってのコネクタ挿抜は御控え下さい。特に数本での斜め引っ張りすることは、御控え下さい。ケーブルが断線する恐れがあります。
2. コネクタ嵌合状態にて、Paddle Card ハーネス及び Lock Bar を垂直方向に引っ張らないでください。リセプタクルコネクタが変形・破損する恐れがあります。

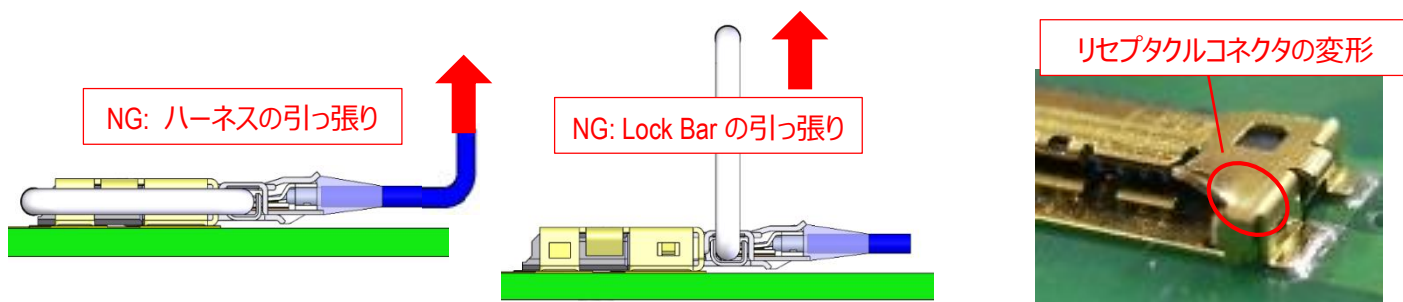


図. 16

3. ケーブル引き回しの際は、コネクタ及びケーブルに過大な力が掛からない様、ご注意下さい。コネクタの破損及びケーブルが断線する恐れがあります。

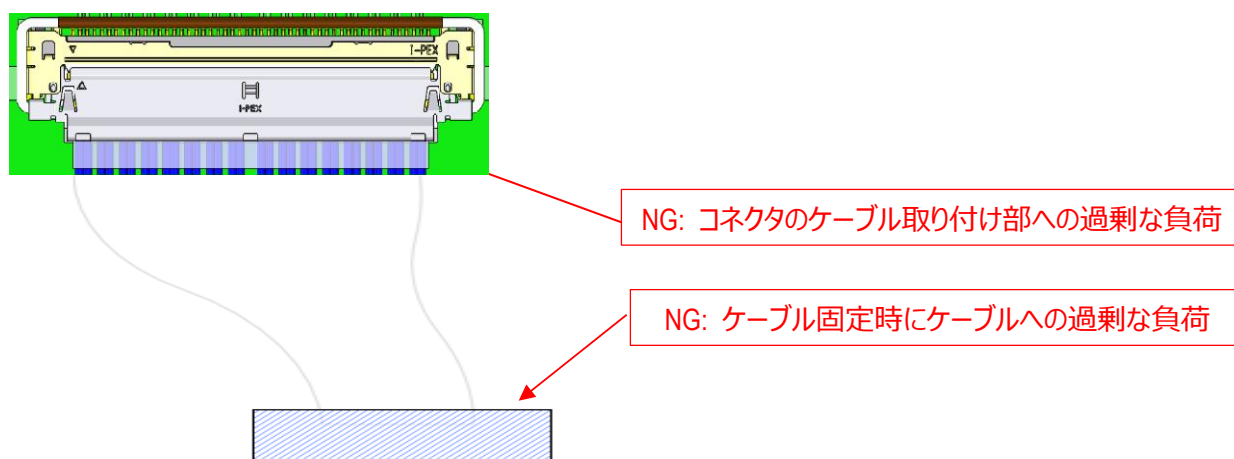


図. 17

4. 常にコネクタに力が掛かるようなケーブル引き回しは、御控え下さい。嵌合不良及びコネクタの変形・破損する恐れがあります。

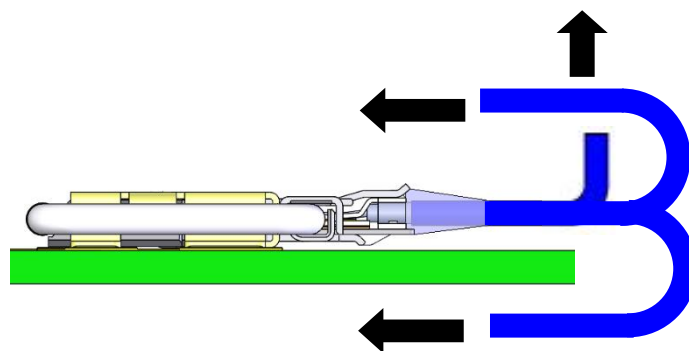


図. 18